



羅臼町議会だより



しれとこ

第1回定例議会・臨時議会	2~4
ズームアップ	5
一般質問	6~9

平成24年

第133号

4月25日



シャチのスパイホップ 撮影者 (有)知床ネイチャークルーズ

平成24年 第1回臨時議会

平成24年 第1回定例議会

去る1月30日、平成24年第1回臨時議会、3月9～13日、第1回定例議会が行われ、補正予算及び平成24年度予算などが審議され、全て原案通り可決した。

平成23年度一般会計

補正額 **6,433万円**

第1回臨時議会補正予算

総務費	その他一般行政に要する経費	176万円
	根室海区漁業調整委員会委員選挙に要する経費	251万円
衛生費	妊婦・乳幼児健診に要する経費	76万円
土木費	町道維持補修及び除雪に要する経費	3,000万円
	合 計	3,503万円

第1回定例議会補正予算

総務費	その他一般行政に要する経費	△633万円
	町有バスに要する経費	△145万円
民生費	老人ホーム入所に要する経費	△208万円
	障がい者自立支援事業に要する経費	450万円
	特別会計繰出金に要する経費	△316万円
	児童手当等支給に要する経費	△1,388万円
衛生費	予防接種に要する経費	△129万円
	特別会計繰出金に要する経費	5,389万円
	野生鳥獣保護管理に要する経費	△188万円
農林水産業費	その他水産行政に要する経費	375万円
教育費	教育コンピューターに要する経費	△363万円
	中学校教育振興に要する経費	△55万円
	幼稚園の管理に要する経費	△180万円
	公民館管理運営に要する経費	96万円
	地域活動推進事業・健康づくり推進事業に要する経費	20万円
職員費	給与費	205万円
	合 計	2,930万円

平成23年度一般会計総額 **39億5,600万円**

平成23年度目梨郡羅臼町 国民健康保険事業特別会計補正予算

補正額 **△835万円**

保険給付費	一般被保険者療養給付費	△252万円
共同事業拠出金	高額医療費共同事業医療費拠出金	△622万円
	保険財政共同安定化事業拠出金	△513万円
諸支出金	返還金	552万円
合 計		△835万円

総額 11億6,362万円

平成23年度目梨郡羅臼町介護保険事業 特別会計補正予算

補正額 **△590万円**

総務費	介護保険業務に要する経費	64万円
	認定調査に要する経費	12万円
保険給付費	審査支払手数料	3万円
	介護予防サービス等給付に要する経費	△400万円
	特定入所者介護サービスに要する経費	35万円
職員費	職員給与等	△304万円
合 計		△590万円

総額 3億9,055万円

平成23年度目梨郡羅臼町国民健康保険診療所 事業特別会計補正予算

補正額 **196万円**

医業費	医薬材料費	△550万円
職員費	給与費	746万円
合 計		196万円

総額 9億8,325万円

平成24年度各会計予算総括表（前年度対比）

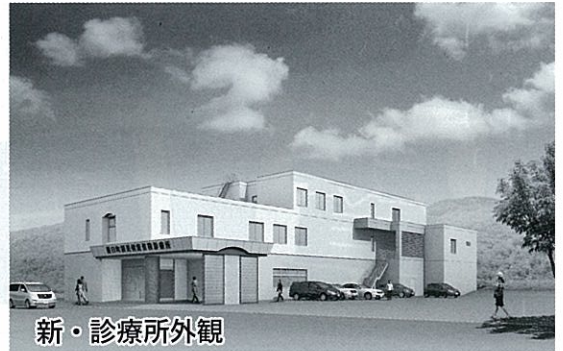
（単位：千円、％）

会計名		区分	平成24年度	平成23年度	増減額 (上段()内は増減率)
1	一般	会計	3,491,919	3,618,693	(△3.5) △126,774
2	特別	会計	2,133,134	2,534,563	(△15.8) △401,429
内 訳	(1)	国民健康保険事業特別会計	1,145,834	1,135,235	(0.9) 10,599
	(2)	介護保険事業特別会計	404,503	342,648	(18.1) 61,855
	(3)	後期高齢者医療事業特別会計	54,530	47,468	(14.9) 7,062
	(4)	国民健康保険診療所事業特別会計	528,267	1,009,212	(△47.7) △480,945
3	公営企業	会計	323,193	338,149	(△4.4) △14,956
内 訳	(1)	水道事業会計	323,193	338,149	(△4.4) △14,956
合		計	5,948,246	6,491,405	(△8.4) △543,159

条例 改正

- ・ 職員の給与の特例に関する条例を廃止する条例制定について
- ・ 羅臼町町税条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 羅臼町乳幼児等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 羅臼町温泉供給条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 羅臼町介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 羅臼町中小企業振興資金融資条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 羅臼町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について
- ・ 公の施設に係る指定管理者の指定について
- ・ 財産の取得について
取得物件 医療情報システム 一式
- ・ 財産の取得について
取得物件 デジタルX線画像診断システム 一式
- ・ 北海道市町村総合事務組合規約の変更について
- ・ 根室町村等公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

新・診療所 いよいよ完成間近!!

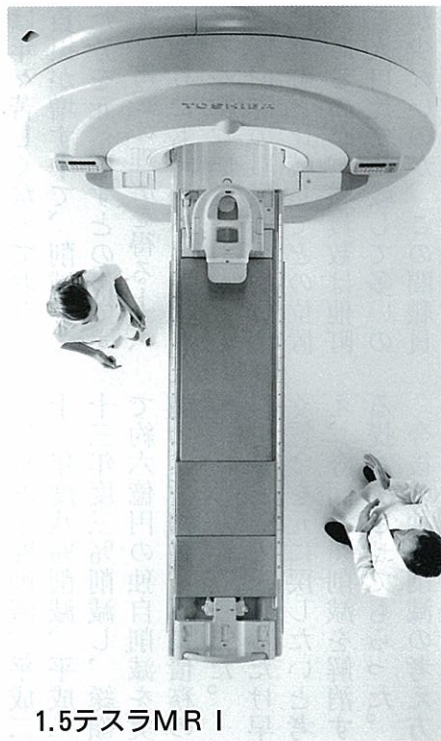


新・診療所外観

新診療所はあと二ヶ月余を残し、七月一日から新しい建物、設備で社会医療法人孝仁会によって運営される。

議会は平成二十一年五月の臨時議会において「診療所建設調査特別委員会」を設置し、建設の場所、規模、病床数や福祉施設の併用等の検討をし、開催回数も十七回を重ねた。内容は概ね町の計画、構想に賛同するものであるが、羅臼町の医療ビジョンを基本に持続可能な医療体制の確立に向け「安心して過ごせるまちづくり」を目指し努力して欲しいと願う。との結論に至り、平成二十三年三月の定例会にて報告され委員会は終了した。

当初の予算規模は六億八千九百万円だったが、最新鋭のCTやMRIまた、所内外を電子ネットワーク化した近代的医療システムを備え、また、人工透析の病床設備等を含め、事業規模は十億三千万円を超える事と



1.5テスラMRI

なったが、町民にとっては、更に安心出来る施設となった。また、事業規模の拡大に伴う町の負担は町内外からの寄付金二億八千万円、国、道からの助成等が約二億三千二百万円、町の一般財源が約三千三百万円、地方債が約四億八千七百万円となっており、地方債の七割が交付金として戻ってくるため実質的な借金は約一億四千六百万円となった。

平成二十三年十月に「孝仁会」を指定管理者として平成二十四年四月一日から五年間の基本協定に調印し、地域医療政策費として一億二千万円を上限として新・診療所へ交付する事となる。

診療体制は内科、外科、小児科のプライマリケア（二次医療）の確保に加え専門外来として月に一回以上の脳神経外科、循環器科、整形外科、産婦人科の診療を行い、二十四時間救急対応と入院の受け入れを実施する。

また、在宅医療、高齢者医療の充実、健康づくりの推進、羅臼町医療ビジョンの実現に向けて連携等が謳われている。

一次的な予防医療に加え最新式の機器類の導入により脳疾患、心疾患など重篤な病気になる前に早期発見ができる事となり二次的、三次的な予防医療につながる



64列マルチスライスCTスキャナ

り、予防医療についても増強出来る。

また、発症時に的確な場所の確定や要因を発見する事が出来るため三次救急病院に即座に情報伝達が出来ることによって早期治療が可能となり、病気を軽減できる事が期待される。

町民の皆様には最新鋭の機器類の利用により、重篤な病気になる前の予防、早期発見につながるよう考えるものです。

質 問

4議員による7件の質問
が提出され、町長・教育
長の考えを問いました。

**新年度予算(案)に
おける人件費の考
え方は**

坂本 志郎議員



新聞報
道で別海
町と羅臼
町の新年
度一般会

計予算案の内訳が紹介され
ました。

額と割合が図で示されて
いますが、羅臼町は職員費
(給与)の歳出に占める割
合が二十四・六%、別海町
は十四・九%であり、羅臼
町は歳出に占める人件費の
割合が最も多いと書かれて
います。

町民の中から「どうなっ
ているのか」との声も聞か
れます。

一市四町の歳出に占める
人件費の割合を調べてみる
と、根室市十八・四%、中
標津町十五・二%、別海町
十四・九%、標津町十四・
四%です。

羅臼町は二十四・六%で
すから割合でみると確かに
突出して大きい。町民感情
から考えると、町民の生活

は年々苦しくなっており、
負担が増す中で、削減して
た分を元へ戻すとの事です
が、町民の理解を得る上で、
あまりにも説明不足と言わ
ざるを得ない。

羅臼町の職員の平均賃金
は他町と比較してどの位置
にあるのか、職員数は他町
と人口比で比較して多いの
か少ないのか、この間職員
の給与は一定期間独自削減
をして、今回元に戻すよう
ですが、その経緯と理由、
そして、財政健全化へ向け
た職員給与のあり方と、今
年度について町独自の削減
の計画はあるのか、その考
え方を示してください。

町長

**新年度給与の独自
削減について職員
組合と協議中**

平成十七年当時、合併が
破たんし、自立の町づくり
計画の中で、病院の不良債
務六億七千万円を抱え財政
再生団体へ転落する危険が
あり職員給与について、平
成十七年五%削減、平成十
八年から平成二十一年まで

の四年間十%削減、平成二
十二年度八%削減、平成二
十三年度三%削減し、総額
で約六億円の独自削減を実
施した。結果、不良債務の
解消につながりました。

町長として出来るだけ早
く賃金を元に戻したいと考
え、今回三%削減を解消す
る提案をさせてもらった。

今後の独自削減の考え方
については、国家公務員七・
八%削減(震災対応)、道
の三%削減継続との話もあ
り、一旦元に戻した上で職
員組合に今後の削減に向け
理解を求め現在協議中です。
協議がまとまり次第独自削
減の提案を議会に求めたい
と考えております。

管内の役場職員の平成二
十二年度平均賃金は、月額
三十五万五千二百円、当町の
一般行政職員数は六十五名
であり、管内平均よりは低
い状況にあります。

坂本議員

その他の質問

- ・新年度予算の性格と重点
施策について
- ・町づくりの考え方につい
て(将来設計・人口減対
策・経済対策・集落共同

- ・体対策・災害(防災)対策
地域包括ケア推進につい
て(医療・保健・福祉の
到達状況と今後の展望・
老人福祉センターの指定
管理者制度について)

	H22年度 平均賃金(円)	H22年度 一般行政職員数(人)	H24年度 歳出予算	H24年度 人件費予算	H24年 人件費率(%)	人口(人) (H24年2月)
根室市	332,100	219	164億7千万円	30億3千万円	18.4	29,087
中標津町	322,800	145	126億5千万円	19億2千万円	15.2	24,208
別海町	319,600	210	147億9千万円	22億円	14.9	16,051
標津町	324,000	88	57億6千万円	8億3千万円	14.4	5,724
羅臼町	305,200	65	34億9千万円	8億6千万円	24.6	5,947

平成24年3月定例議会

一般



一般質問と答弁は
要約されています
議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。
質問、答弁の全文について詳しくお知りになりたい方は、町役場議会事務局までお問い合わせ下さい。

まちづくりの基本姿勢について

高島 讓二議員



「まちづくりの基本姿勢」として、「勇気をもって決断し実践する」基本姿勢を堅持し、「攻勢に転じた行政運営」を進める。こうした認識に立ち、三つのキーワード「選択と集中」「やる気支援」「協働のまちづくり」を掲げているが、それぞれの具体策を伺う。

「自治基本条例について」

町政への町民参加によるまちづくりが全国の各自治体で条例化が進んでおります。住みよい町づくりを進める指針として町民、議会、行政一体となつてのまちづくり条例或いは自治基本条例の制定を推進すべきと思いますが、お考えは。

町長

「基本姿勢に係る三つのキーワード」は町政運営の心構えや態度である。

「まちづくりの基本姿勢」に係る三つのキーワードは基本姿勢を揺るがないものにするため、施策を効率的に推進するための特定のキーワードであり、常に三つの考え方を念頭に置いた施策の展開を心がける事である。

「自治基本条例について」

地方分権の流れの中で自治基本条例の有効性は認識している。条例の必要性や有効性を踏まえ導入事例の検証を行っていく。

行財政改革の断行について

高島 讓二議員

平成二十四年度町長行政執行方針では「経済の低迷、少子高齢化、町民のニーズの多様化により当町の財政

環境はますます厳しさを増している」「行財政改革の検証・見直しを含め改革を断行する」と述べられております。

平成二十四年度の一般会計予算案では、前年度に比べ職員費が約四千万円膨らみ歳出全体の約二十五%を占めており、町長お考えの行財政改革の断行とは、どのような事か、お聞きします。

私は、職員費を膨らませるのではなく、介護保険料を据え置く或いは、漁業振興に先行投資するなど、先ずは町民の皆様へ還元すべきであると思えます。

また、行財政改革を進める上で「公会計白書」を策定し、事業が適正かどうか判断しやすくなり、行財政改革に必要であると思えますが、お考えは。

町長

給与の独自削減を提案している。

二月二十九日に国家公務員の給与を削減する特例法が参議院で可決・成立した

事に伴い、平成二十四年度から再度、職員に対し給与の独自削減に協力頂くよう、提案させて頂いた。
また、行財政改革の検証・見直しについては、環境の変化に応じながら実践項目の見直し・改善を行い行財政改革を進める。
「公会計白書」については、検討していく。



町行財政の検証と課題について

高村 和史議員



①自立プランは、二〇〇六年から十年間の計画である。自立プランのこれまでの成果、自立プランの中間的な総括、町財政の現状認識について、又「羅臼町第六期総合計画」の進捗状況について

②町税・使用料等、町全体の未収金が、平成二十二年度決算で、五億三千万円余りあり、未納者の各未収金、回収の窓口を一本化し、対応を総合的に行う工夫も必要ではないか。
③診療所の改築では、当初の事業費、六億円の予算に対して、現時点で十億円を超えそうな状況になっている。当初部分から増額した分、起債を増やすことではなく、国や道の制度の活用の努力をさらに求めたい。

④平成二十二年度の決算特別委員会で、多くの議論を数日間かけて、多くの指摘事項があり、新年度予算案に関わって、決算委員会で議論経過がどう反映されたのか、又、委託業者の選考、委託料は、どのような基準で決められるのか、お示し下さい。

町長

引き続き行財政改革の断行!!

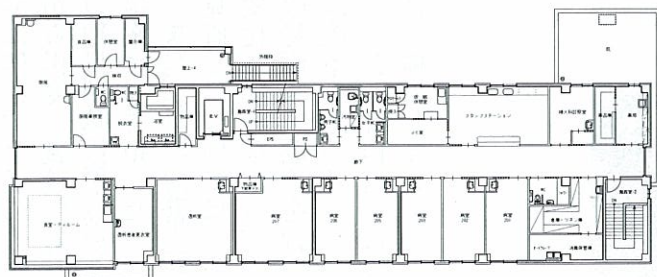
①自立プランは、町民の理解を頂き、人件費の抑制、投資的経費の抑制、公債費の抑制等、一定の成果を上げた認識している。プラン策定後、計画を着実に実施するため、二年間にわたり、町民で組織する評価委員会を設置し、取り組みを検証して頂き、良好な評価を頂いている。自立プランによる効果は、財政健全化法による健全化団体への転落を免れた大きな要因である。当町の財政構造は、予

算の五十%以上は、国からの地方交付税に依存せざるを得ない状況であり、基本的に大きく好転しておらず、引き続き厳しい行財政改革を断行していかなければいけない。「第六期総合計画」については、国の交付金の活用もあり、計画通りに事業を実施している。

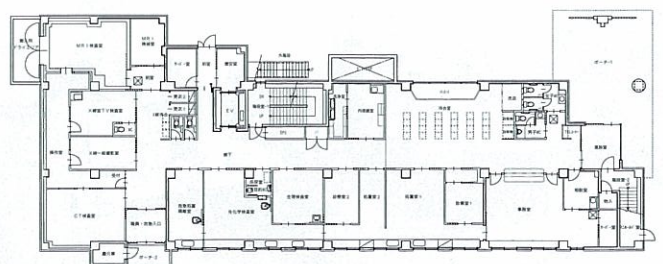
②平成二年度から平成四年度に、税務課に一本化したのが、収納率が好転しなかった。過去の経緯を踏まえ、情報共有化を図りながら、収納に万全を期する。

③総事業費が当初六億九千万円から十億三千万円と増加しました。町財政に負担の少ない形で資金調達を検討しました。様々な国や道の補助金の制度を活用した結果、町内外からの寄付金が二十七%、過疎債が四十七%、国・道の補助金が二十三%、一般財源が三%と、町の財政的な負担は最大限軽減された形となっている。
④町内に本社、営業所がある業者で、委託可能な業務

については町内業者を優先している。特殊業務以外は、二社以上から見積書の提供を受け、その中の最低単価を基準としている。決算委員会での指摘事項については、各課に通知し見直しの指示、平成二十四年度中に、ガイドライン的なものを策定する。



2階平面図



1階平面図

観光産業の活性化
について

湊屋 稔議員



町長は
これまで
地域産業
の活性化
の一つの

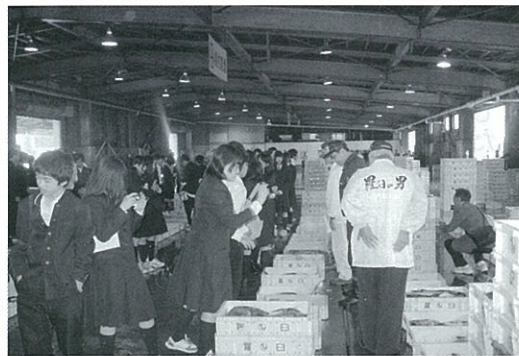
柱として観光産業の重要性を話されております。そこで次の四点について町長のお考えをお聞きます。

一、現在の観光入り込み数が六十万人を下回ってしまっていることについて、町長はどのように受けとめておられるのでしょうか。

二、道の駅周辺の旧国道の活性化計画の進捗状況と町長の描く魚の城下町通りの将来像はどのようなものなのでしょうか。

三、行政が主催している「知床開き」の目的や位置づけの意義をお聞かせ下さい。又、町には「いさり火祭」と併せ二つの大きなイベントがあります。行政が主催する政難や町内会や各種団体への負担増の中で、より効率的な開催方法や発展的な合併などを考える時期でもあると思いますが、町長はどのようにお考えでしょうか。

四、ここ数年で中国や台湾からのバードウォッチャーが急増しています。LCCと言われる格安航空が運航している中、閑散期である冬に期待できる動きであります。町長にはトップセールスマンとして国内外にアピールしてもらいたいと思っておりますが、何か対策を打っていただけないでしょうか。



町長

積極的にPRして
いかなければなら
ない

一、私自身としては、安心安全を提供するための医療基盤の再生に取り組んできており、十分にアピールや発信をできませんでしたが、一定の目的がたつたことから「知床羅臼町体験学習推進協議会」を中心に積極的にPRしていかなければならぬと考えております。

二、旧国道通り一帯を観光客が滞留できるようにすることは将来にとっても有効な施策と考えております。道の駅を中心として通り一帯が漁業の町である羅臼の生活や文化が漂い、多くの町民や観光客が行き来する、人の賑わいを感じられる通りが形成できればと考えております。

三、知床開きは、魚の城下町をテーマに参加団体が主催の「羅臼自慢」「羅臼名物」をアピールする町民及び

び観光客を対象とした知床観光の幕開けのまつりとして位置づけて開催してまいります。効率的な開催方法につきましては検討してまいります。発展的な合併については、現段階では貴重なご提言として承らせていただきます。

四、今年も多く外国人バードウォッチャーが訪れると聞いておりますし、羅臼町独自の誘致運動も必要と考えますが、世界のバードウォッチャーからは、根室管内が特に注目されていると聞いておりますので、広域連携による誘致・PR活動を積極的に推進してまいります。



町政はあなたのために！！
議会を傍聴してみませんか。



* 町議会の定例会は年4回(3・6・9・12月)開きます。
* 町議会の臨時会は必要に応じて随時開きます。

議会の動き

2月

- 14日 北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会
定例会 議長
- 16日 議会運営委員会
- 26日 T P Pに関する講演会 議長
- 29日 全員協議会

3月

- 1日 羅臼高等学校卒業証書授与式 議長
議会運営委員会
- 5日 経済文教常任委員会
- 6日 総務民生常任委員会
- 7日 議会運営委員会
- 9日 第1回定例会（～13日）
- 13日 議会運営協議会
全員協議会
- 30日 議会だより編集特別委員会

4月

- 5日 議会だより編集特別委員会 議長
- 9日 羅臼高等学校入学式
- 16日 議会だより編集特別委員会
- 19日 議会だより編集特別委員会
- 20日 四島交流等使用船舶「えとびりか」お披露目式
議長
北方領土復帰期成同盟根室地方支部通常総会
議長

知床雪壁ウォークが 開催されました

四月十五日(日)知床峠下 ひと足早く残雪の知床横断
5kmから午前十時から、総 道路でのウォーキングを楽
勢三五四名(二団体含内宿 しみました。午後一時に全
泊約五十名)の参加でスター 員がゴールし、その後道の
トしました。早朝は市街地 駅に隣接のらうす青空市で
は濃霧でしたがスタート地 無料配布のかに汁にて羅臼
点では晴天となり参加者は の味覚を味わっていました。



知床羅臼町観光協会提供

議会事務局スタッフが かわりました



柴屋 猛次長 寺澤 哲也事務局長

四月一日の人事異動により、前出納係長の米屋 猛氏が議会事務局次長として着任いたしました。

前任の大沼良司氏から指導を受けながら頑張っ
て行く所存です
ので、今後とも
よろしくお願
い
します。

お詫びと訂正

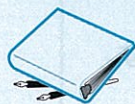
前回発行の表紙に誤字がありました。

(誤) 吉井 政治氏

(正) 吉井 政浩氏

でした。大変申し訳なく衷心よりお詫び申し上げます。

編集を終えて



今年には例年にならない豪雪となり、まだまだ寒い日が続いています。さて、二十四年度予算が確定し、新しい年度がスタートしました。大変厳しい状況が続いています。私達も現状を見据えながら取り組んで行く所存です。

町民の皆様からの色々なご意見等をご遠慮なくお寄せ下さい。

田中 良